

令和元年度 公開授業・研究協議を実施しました

○11月14日木曜日に、新羽高等学校では、神奈川県内の高等学校、中等教育学校の教職員と、教職員を志望する学生を対象とした公開研究授業を行いました。

○新羽高校では、今年度の授業研究テーマを「協働学習を効果的に活用した『学びに向かう力』を育成する授業の実践」と設定し、年間を通して取り組んでまいりました。その取組みの一環として、公開研究授業を実施しました。公開授業の担当者は、次の通りです。

教科・科目	授業担当者	学習単元
国語・国語総合	西山 果那 教諭	「コインは円形か」
地歴公民・世界史A	渡部 裕哉 教諭	「フランス第二帝政」
数学・数学Ⅱ	久重路 麻美子 教諭	「指数関数・対数関数」
理科・生物基礎	若井 千明 教諭	「生物の体内環境の維持」
外国語・コミュニケーション英語Ⅱ	高田 裕子 教諭	「The Power of Color」



公開授業の様子（写真左から、数学・数学Ⅱ、地歴公民・世界史A、国語・国語総合、理科・生物基礎）

○公開授業実施後の教科別研究協議には、本校教職員を始め、参加して下さった中学校校長先生、教育委員会指導主事、他校の県立高校教員、学生や大学教授も加わり、見学した公開授業について活発な協議が行われました。そして、協議の最後には、各教科で共有した公開授業から得たことを発表しました。発表の内容は次の通りです。

- ・国語総合では、個別学習で自己理解を深め、協働学習で他者理解を、そしてまた個別学習に戻して深く自己理解につなげるなど、授業展開に工夫がなされていた。
- ・世界史Aでは、発問の工夫がなされていた。また、ホワイトボードを使って各班の考えを一括で見せることで、他の班の考えや、理解具合が分かってよかった。
- ・生物基礎では、映像資料が効果的に用いられており、また、BYODを用いた授業は、教員と生徒の双方向授業がなされていた。



授業研究の目標達成に向けた取組みや、他教科でも活用できる指導方法など実りの多い研究協議となりました。

（右上の写真は、4枚とも研究協議中の様子）

○全体会では、横浜国立大学の石塚 等 教授から、「これからの時代に求められる資質・能力を育むためのカリキュラムマネジメントのあり方」の講義をもらい、生徒の力を育むための学校としての取組みについて理解を深めることが出来ました。

（右写真は、石塚教授による講演）

